

10月22日(土)、洛西総合庁舎で環境部会ミニ勉強会「洛西ニュータウン ごみゼロまちづくりの提案」が開催されました。洛西ニュータウンの美化活動に携わる団体や行政から講師を招いて、それぞれのテーマについて語っていただいた後、参加者の方を交えて意見交換が行われ、「洛西ニュータウンを美しいまちとして次世代に継承したい」などの意見が出されました。美化活動に関する様々な取組を学ぶことができ、たいへん有意義な勉強会となりました。



テーマ：「散乱ごみや不法投棄の現状」

- ・犬の糞、レジ袋、タバコの吸い殻、空き缶、ペットボトルなどの散乱ごみから自転車、バイクにいたるまで、様々な不法投棄がある。
- ・不法投棄には、即対処が重要。ごみをごみと呼ぶ。一人ひとりがごみを捨てない意識を持ち、マナーを守ってほしい。

岩倉紘一さん(環境部会委員)

テーマ：「小畑川を中心とした美化活動」

- ・「なんきんはぜの会」では、小学生から老人まで様々な世代の人が年間を通して小畑川の美化活動に取り組んでいる。
- ・1年間で回収したごみは、大型ゴミを除いても1トンを超える。
- ・このような活動は、楽しみつつ、継続していくことが大事。



野崎泰子さん(なんきんはぜの会)



テーマ：「まちの美化推進住民協定とは」

- ・この協定は、京都市が一定の条件をクリアした地元の方の美化活動を支援する制度。
- ・地域住民の積極的なアイデアにより、清掃用具など、まちの美化推進に寄与できるものを支援することができる。

田中清秀さん(京都市まち美化推進課課長補佐)

長岡京市に引き続き、千里ニュータウンの通りの愛称づくりを調査

10月18日(火)、道路の愛称づくりの参考のため、吹田市役所を訪問しました。「愛される街への取組」として、千里ニュータウンでの道路の愛称づくりが提案されてから決定するまでのプロセスについて、詳しいお話をうかがいました。



吹田市道路愛称マップより

なかでも、「吹田市道路愛称づくり準備委員会」や、公募した市民も加わった同市民会議の2年半にわたる精力的な活動の記録には、訪問した委員会関係者全員が心を動かされました。

愛称はすっかり浸透し、10年経った現在でも愛称の由来が分かる「道路愛称マップ」を取りに来られる方がおられるそうです。また、愛称のついた道路の1つである「三色彩道」は、秋に紅葉が美しく色づき、毎年多くの方が見物に訪れるとのことでした。

今年の部会の活動テーマは「洛西ニュータウンにプレイパークを！」。9月の洛西ニュータウンの公園の「まちあるき」、10月12日(水)の宝が池公園子どもの楽園プレイパーク担当者を招いての「ミニ勉強会」に続いて、10月23日(日)に宝が池へ出かけ、プレイパークを実際に体験してきました。

宝が池公園子どもの楽園は、昭和39年に開設、平成20年にリニューアルオープン。子どもたちの自由な遊びを引き出す、子どもが主役の公園で、大きく分けて「プレイパーク」、「遊具」、「大広場」の3ゾーンがあります。参加した子どもたちは、化石探し、コマ回し、フラフープ、大ブランコ、大縄跳びなど、目いっぱい遊ぶことができました。野生の鹿が出現するというサプライズもあり、あっという間に帰りの時間が来てしまいました。



湧き水で水遊び



大自然のなかで大縄跳び

子どもたちの感想

すごくキレイでした。遊具が見たことのないものばかりで、中3の私でも楽しめました。

自然がたくさんあったり、遊具もあってとっても楽しかったです。

とにかくおもしろかった。でも、何でニュータウンにはないのかな。

湧き水で顔を洗ったり、飲んだりして楽しかった。自然がいっぱいあって、ずっとここでくらしたいと思いました。

今までは家で遊んでいたけど、外で遊ぶ楽しさが分かったのです。

洛西より自然があって、すごいなあと思いました。迷路もおもしろかったです。また行きたいなあ。

